

# たかねの湯

Takanenoyu  
(山梨県北杜市)



本日は陽の昇っていない早朝からサンメドウズでポール練習会に参加した。コースの長さは 1,200m。通常のポール練習や、私が出場している大会のコースの場合、長さはせいぜい 800m である。朝からこの長大なコースをインスペクションも含めて 9 本も滑り、その後もゲレンデをフリーで滑り続け、合計 27 本も滑った。足はガクガクである。

11:00、ゲレンデを後にし、今回紹介するたかねの湯にやってきた。程よい疲れに温泉。たかねの湯はそんなスキーヤーの欲求を満たしてくれる温泉だ。ゲレンデと中央道の間の道中にあることがその証左だ。

脱衣室に入ってまず驚かされるのは、そのキャパシティの大きさである。脱いだものを入れる籠の数がなんと 96 個もあるのだ。浴室はどんなスケールなのか。期待が高まる。尚、貴重品はフロント横の貴重品ロッカー（無料）に入れよう。

さて、その浴室はやはり広い。スペースが贅沢に使われている。例えば、中央には石でできたベンチがあり、その周囲には何も無い。上がり湯は 3 人は入れるかと思うような浴槽から湯をすくう。もちろん中に入ってはいけないので、厳密には浴槽とは呼べない。あまりに贅沢ではないか。左手の洗い場は 16 か所あるが、洗い場同士の間隔は 1m 以上。こんなゆったりと配置された洗い場はめったにお目にかかれない。洗い場にはボディーソープ、シャンプー、リンスがある。手前右にあるシャワーブースは 3 か所だが、それぞれ幅が 2m 近くもある。もはやブースとは言えない。

浴槽も大きい。左にある大風呂は定員 20 人以上。中央にある寝風呂は 4 人分だが、その周囲がまた広い。さらに右手にはジャグジー。定員は 8 名くらいか。さらに右手には打たせ湯が 3 箇所あるが、それぞれ 4 人は入れるのではないかという広さだ。これを 1 人で独占するのは少々気が引ける。水風呂は 6 人はゆうに入れる大きさ。すべてが巨大なスケールである。

サウナも広い。ゆったりと入れる大きさと、定員は 18 人程度である。常連客が「このサウナ、ぬるいんだよな」とつぶやいていたが、温度計を見ると 100℃。水風呂は恐ろしく冷たいから、サウナと水風呂の組み合わせは、明らかに上級者向けである。そして、この常連客はさらにその上を行っているというわけである。恐るべし・・・。

残念ながら、たかねの湯には露天風呂はない。ただ、全ての浴槽の湯温がややぬるめになっているため、長湯が可能である。外を見やれば、南アルプスの壁のような威容が見える。天気の良い時は富士山も見えるそうだ。

ちなみに、たかねの湯は単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

来週は、とあるレースに出場予定である。厳しい戦いになりそうだ。たかねの湯は、しばしそれを忘れさせてくれた。

DATA

名称	たかねの湯
所在地	山梨県北杜市高根町箕輪新町 95 番地
電話	0551-46-2611
営業時間	11:00~22:00 (最終受付 21:30)
定休日	水曜日 (祝日の場合は営業)
入浴料 (北杜市民以外)	大人 (中学生以上) 820 円、小人 (小学生) 420 円、未就学児無料
入浴料 (北杜市民)	大人 (中学生以上) 410 円、小人 (小学生) 200 円、未就学児無料
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	あり
取材日	2018 年 1 月 20 日 (土)
取材	銭湯愛好会東京支部